

KIYOSEのひと

Kiyose International Club
清瀬国際交流会 (KIC) 代表

石井 誠二 さん

1992年に設立されたボランティア団体「清瀬国際交流会 (KIC)」。地域に暮らす外国人と日本人が互いの違いを認め合い、共に暮らす多文化共生の地域づくりを目指し活動しています。

かつて多くの結核療養所や病院が集まっていた清瀬。現在も市内にある結核研究所には世界各国の医療関係者が研修に訪れており、1991年に市民との交流の場をつくらうと市が呼びかけ、交流会が行われました。多くの市民が集まったことで「一度きりではもったいない」「清瀬に住んでいる外国人とも交流したい」との声が挙がり、翌年 KIC が設立されました。現在は、多文化共生・国際交流、日本語教室、清瀬でも英語しゃべらん会、コーラスの4事業が行われています。

中でも中心となるのが、外国人学習者と養成講座を受講したボランティアが1対1で行う日本語教室。身振り手振りや絵なども使いながら日本語で対話を重ね、言葉だけでなく生活や文化も伝え合っています。外国人が日本社会で暮らす上で「言語・制度・心」の3つの壁があるとされていますが、KICはその壁を少しでも取り除こうと、日本語学習支援のほか防災講座や交流イベントなどを開催。中には日本語能力試



2025年10月開催、防災講座の様子。



験に合格して職を得る人もいて、「成長を見守る喜びは大きい」と石井さんは話します。

外国人を含む市民が英語で交流する「清瀬でも英語しゃべらん会」や、市民まつりへの参加など地域交流の場も多く、コーラス活動では地域の施設を訪問することも。石井さんは「違いを良い悪いではなく、理解し合い、同じ地域で楽しく暮らしていくことが大切」と語ります。そして、広報を担当する林さんは「世代によって違う文化も含めて多文化共生だと思っている。人や国が違うから面白いということをいろいろ知ることによって世界が広がっていく。それを感じられるのが、KICの存在価値だと思っています」と続けます。

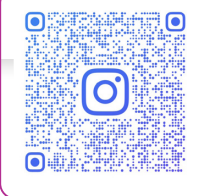
地域に暮らす人々が国籍や文化の違いをこえてつながる KIC の活動を通じて多文化共生の輪が、清瀬のまちに広がり続けています。

清瀬市観光協会の

お
押し!



ぜひフォローを
お願いします!



清瀬の魅力を発信中!

きよせ市観光大使公式Instagramを開設しました。2025年10月19日に開催した「きよせ市民まつり」で任命式を行い、活動を開始した初代きよせ市観光大使が、市内の魅力を広く発信していきます。参加したイベントの様子をはじめ、清瀬の四季折々の風景や飲食店、施設などを訪問し、その魅力を観光大使の言葉と写真、動画などでお届けします。今後もさまざまな情報を積極的に投稿してまいりますので、ぜひフォローと「いいね」をお願いします。

【アカウント名】
きよせ市観光大使 (@kiyose_city_tourism_ambassador)

more! KIYOSE vol.11

企画・発行：清瀬市シティプロモーション課
プロモーション係
発行月：2026年5月
問合せ：042-497-1808 (直通)



SDGs
未来都市
清瀬市
Kiyose City

清瀬市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



みんなの力で
大江戸線を清瀬市へ

本誌掲載内容の無断転載をご遠慮ください。
©2026 more! KIYOSE all rights reserved.

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見や感想、
気になる情報や見てみたい
企画を募集中! これまでの号
も合わせてぜひご覧ください!

ご回答は
LoGoフォームへ



バックナンバーは
こちら

